令和７年度 従業者における自己評価結果（公表）

（ 放課後等デイサービス ）

事業所　本別町児童発達支援センターよつば

討議：令和８年２月１６日
公表：令和８年３月２日
自己評価者数（職員）４人

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		現在、第三者による外部評価は行っておりません。保護者からの事業所評価を基に、業務改善につなげております。
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や施設内で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（以下「個別支援計画」という）を作成しているか。	4			
	12	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	13	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			

適切な支援の提供	15	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	4			
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	21	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	22	放課後等デイサービスガイドラインの「４っつの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4			
	23	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した職員が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、緊急時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	27	移行支援として、学校・学童保育所との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			外部機関の言語聴覚士、理学療法士、作業療法士には療育につながるアドバイスをいただき、心理士には発達検査や利用者の相談でご協力いただいております。
	29	（自立支援）協議会、地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			

保護者への説明等	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	32	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	33	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から計画の同意を得ているか。	4			
	34	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	35	保護者への活動支援として、保護者同士で交流する機会を設ける等の家族の支援を行っているか。	4			茶話会やペアレントメンターとの懇話会を開催していますが、多くの方に参加していただく日程の調整に苦慮しており、今後も検討を重ねてまいります。
	36	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	37	定期的に通信等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
非常時等の対応	39	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	40	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	41	事前に、こどもの生育状況、病歴などを確認しているか。	4			
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	43	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			